

21世紀COE「京都大学化学連携研究教育拠点」外国人講演会報告書

合成・生物化学専攻 吉田潤一

研究集会名： 21世紀COE講演会

講師：Dr. Irena G. Stara (Institute of Organic Chemistry and Biochemistry, Academy of Science of the Czech Republic, Prague, The Czech Republic)

演題：Chemistry of Helicenes and Their Congeners

日時：平成18年11月22日（水）16:30-18:30

場所：（A2-303号室）

総参加者概数：35名（教員5名、研究員・大学院生・学部生30名）

主な参加者：吉田潤一、松原誠二郎、菅誠治、中尾佳亮、野上敏材

講演内容：

Stara博士は、らせん不斉分子であるヘリセンの効率的合成方法の開発者として有名であり、チェコ共和国の有機化学をリードする研究者である。講演ではまず、ヘリセンの π 共役分子としての特性について述べられ、その研究史を先駆者の仕事を含めて概説した。続いて、博士らが開発した遷移金属触媒を用いたアルキンの環化三量化反応によるヘリセン誘導体の合成方法について説明した。博士らの手法は置換基の導入が容易であり、ヘリセンの長さが自由に換えられるだけでなく、不斉が触媒的に誘起できる点で独創的かつ力量がある。また、含窒素ヘリセンであるアザヘリセンの合成にも応用出来ることを示した。自らのすばらしい研究成果を発表するだけでなく先行する研究を丁寧に紹介された点、学生にも分かりやすく説明された点が非常に印象的であった。

講演会の様子：

